

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・本製品は、取付け可能なタイプ・サイズが決まっています。それ以外には取付けないでください。
- ・壁付けタイプで間口連結する場合は、ベースプレートを使用して取付けてください。
- ・奥行き連結した場合は、間口連結しないでください。

●躯体への固定

- ・タッピンねじは柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、及び躯体の強度が保持できない場合は取付けないでください。
- ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締め付けてください。

●施工上について

- ・施工は専門業者が行ってください。
- ・みだりに改造・変更をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

●絶縁処理

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■施工上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 部材切断・加工寸法は屋根自体の角度が10°の場合の値です。角度が異なる場合は現場合合わせで加工してください。

■部材の加工

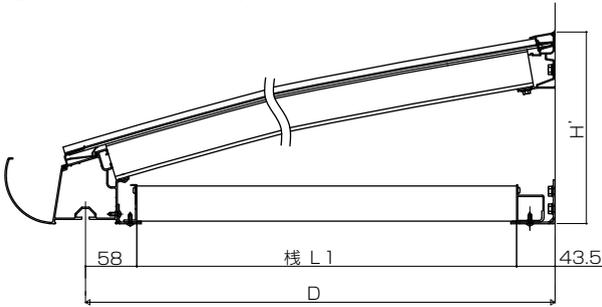
※D、H寸法に関しては、アルファテラス本体の取付け説明書を参照してください。

※屋根自体の角度が10°でない場合は現場合わせで加工してください。

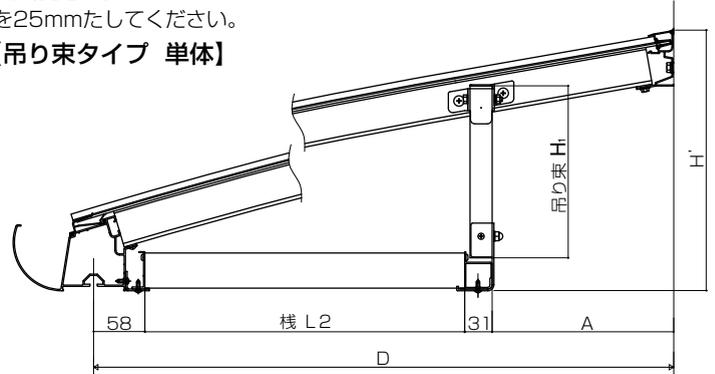
※パーゴラ棧を切詰めない場合の吊り束寸法は [E212] の納まり図を参照してください。

※2.5間通し (600タイプ・3~6尺)、1500タイプの場合は吊り束寸法を25mmたしてしてください。

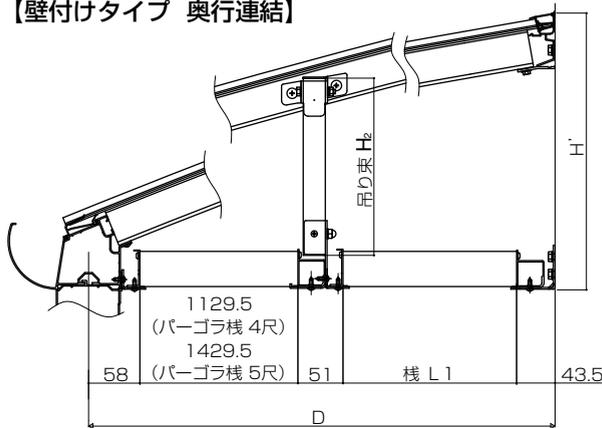
【壁付けタイプ 単体】



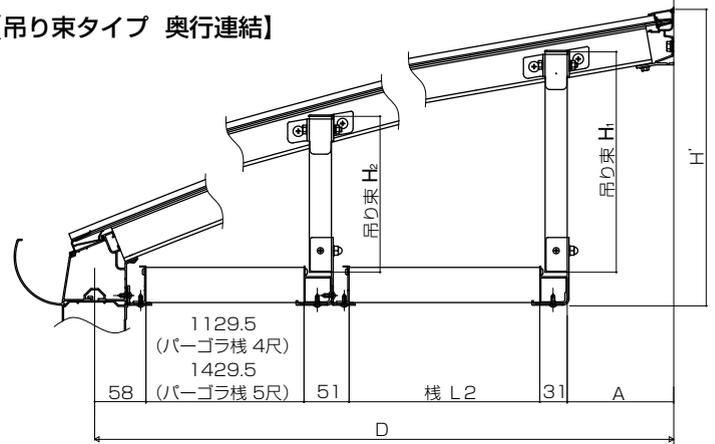
【吊り束タイプ 単体】



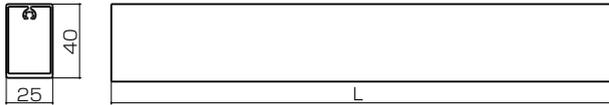
【壁付けタイプ 奥行き連結】



【吊り束タイプ 奥行き連結】



【棧 (パーゴラ用)】

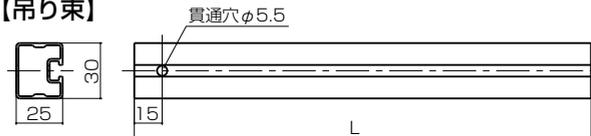


■切断寸法式

壁付けタイプ	単体	奥行き連結	
		前枠側・4尺	前枠側・5尺
L1	D-101.5	D-1238	D-1538

吊り束タイプ	単体	奥行き連結	
		前枠側・4尺	前枠側・5尺
L2	D-89-A	D-1225.5-A	D-1525.5-A

【吊り束】



【アルファテラスF型・RA型・RB型】

・吊り束切断寸法

$H_1 = H' - 64.5 - A \times \tan 10^\circ (=0.176)$ ※ $150 \leq A \leq D - 600$

$H_2 = 435$ (前枠側に4尺用のパーゴラ棧を使用した場合)

$H_2 = 488$ (前枠側に5尺用のパーゴラ棧を使用した場合)

※2.5間通し (600タイプ・3~6尺)、1500タイプの場合は +25mm

【アルファテラスL型】

・吊り束切断寸法

H_1 = 右記切断寸法表参照

$H_2 = 423$ (前枠側に4尺用のパーゴラ棧を使用した場合)

$H_2 = 499.5$ (前枠側に5尺用のパーゴラ棧を使用した場合)

※2.5間通し (600タイプ・3~6尺)、1500タイプの場合は +25mm

【アルファテラスL型】

■切断寸法表

A \ L	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R
	L	L	L	L	L	L	L	L
150	208	261	336.5	389.5	442.5	652	704.5	757.5
200	199	252	327.5	380.5	433.5	643	696	749
250	189	243	319	372	424.5	634	687	740
300	179	234.5	310	363	416	625.5	678	731
350	169	225.5	301.5	354	407	616.5	669.5	722
400	158	216.5	292.5	345.5	398	607.5	660.5	713.5
450		208	283	336.5	389.5	598.5	652	704.5
500		199	273.5	327.5	380.5	589	643	696
550			264	319	372	579	634	687
600			254	310	363	569	625.5	678
650				301.5	354	554.5	616.5	669.5
700				292.5	345.5	548	607.5	660.5
750					336.5	537	598.5	652
800					327.5	526	589	643

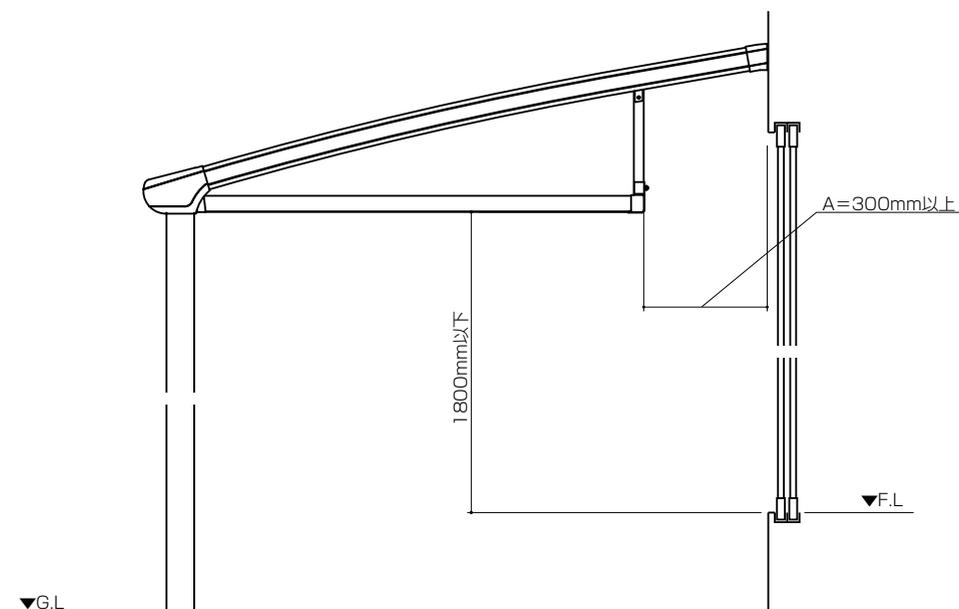
■設置条件の確認

●本製品は、取付け可能なタイプ・サイズが決まっています。下記に従って取付けてください。

吊り束タイプ	600タイプ			1500タイプ	3000タイプ
	1.0間～2.0間 関東間のみ	2.5間通し 関東間のみ	3.0間通し 関東間のみ	1.0間～2.0間 関東間のみ	1.0間～2.0間
アルファテラスF型	3～8尺	3～8尺	3～6尺	3～8尺	3～6尺
アルファテラスL型	3～10尺	3～9尺	3～6尺	3～9尺	—
アルファテラスRA型	5・6尺	—	5・6尺	5・6尺	—
アルファテラスRB型	3～10尺	3～9尺	3～6尺	3～9尺	3～6尺

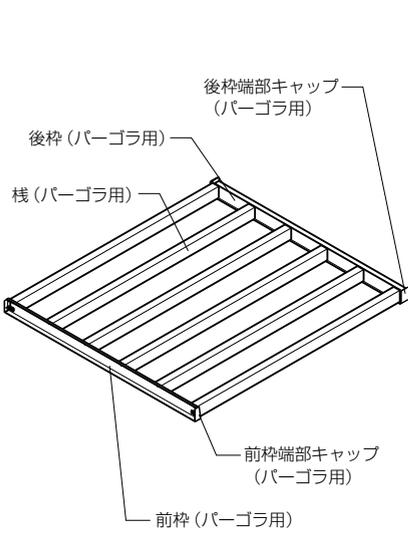
壁付けタイプ	600タイプ			1500タイプ	3000タイプ
	1.0間～2.0間	2.5間通し	3.0間通し 関東間のみ	1.0間～2.0間	1.0間～2.0間
アルファテラスF型	3～8尺	3～8尺	3～6尺	3～8尺	3～6尺
アルファテラスL型	3～10尺	3～9尺	3～6尺	3～9尺	—
アルファテラスRA型	5・6尺	5・6尺	5・6尺	5・6尺	—
アルファテラスRB型	3～10尺	3～9尺	3～6尺	3～9尺	3～6尺

●開口部前面にパーゴラを設置し、▼F.L～パーゴラ桟下端までの距離が1800mm以下になる場合は、A寸法を300mm以上にしてください。

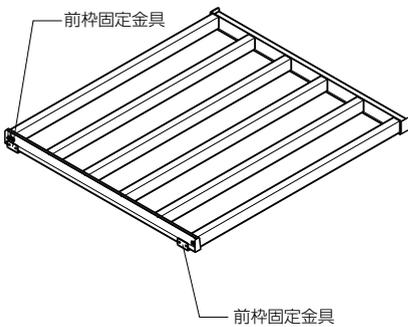


■取付け順序

1 パーゴラ棧の組立て



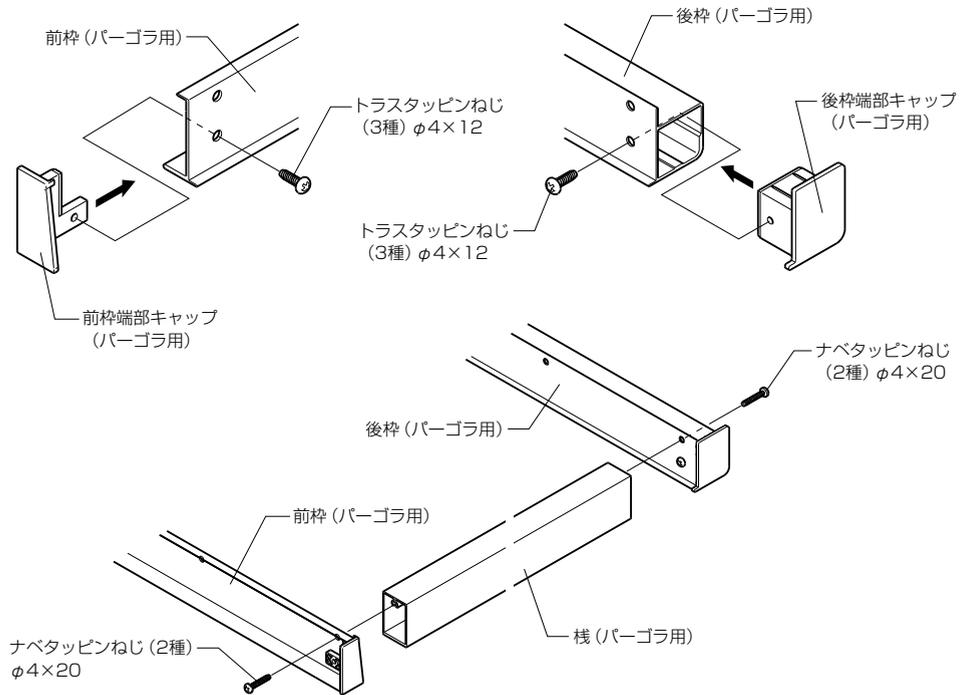
2 前枠固定金具の取付け



■取付け詳細

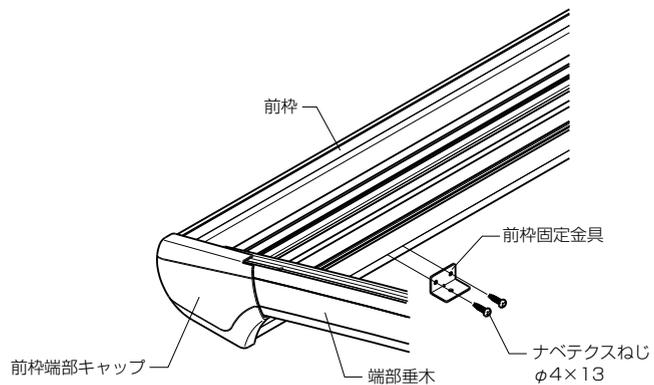
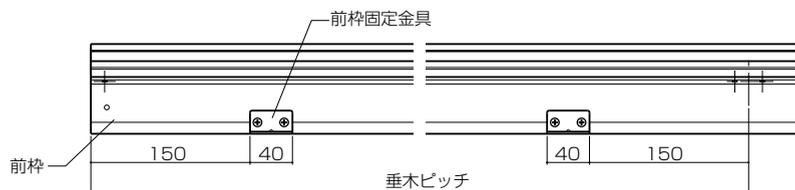
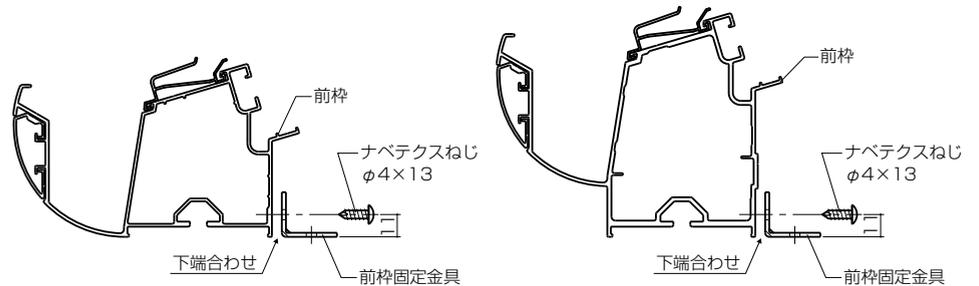
1 パーゴラ棧の組立て

- ①前枠・後枠 (パーゴラ用) にキャップをねじ止めしてください。
- ②パーゴラ棧を組立ててください。



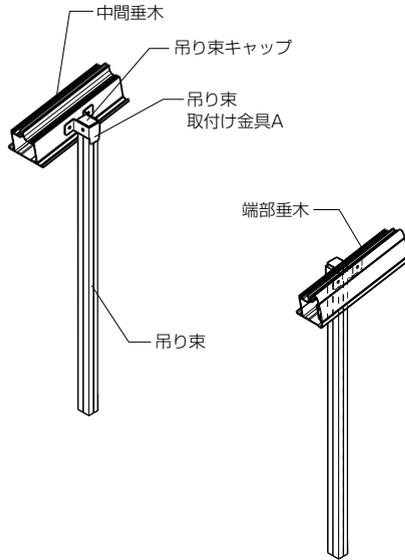
2 前枠固定金具の取付け

- 下図の位置に前枠固定金具をねじ止めしてください。
- ※補強桁付きの場合はV溝の位置にねじ止めしてください。



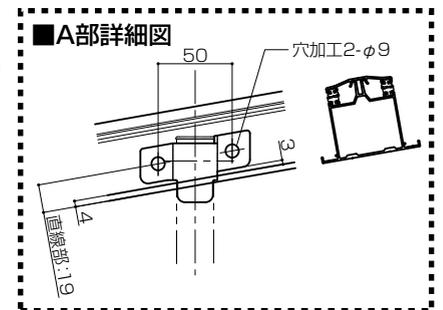
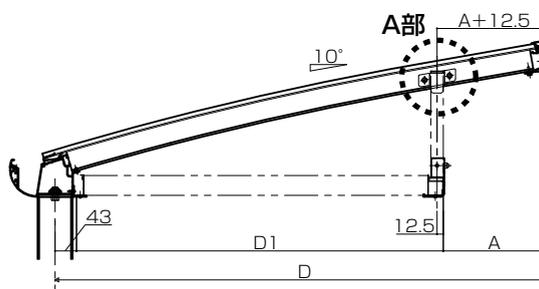
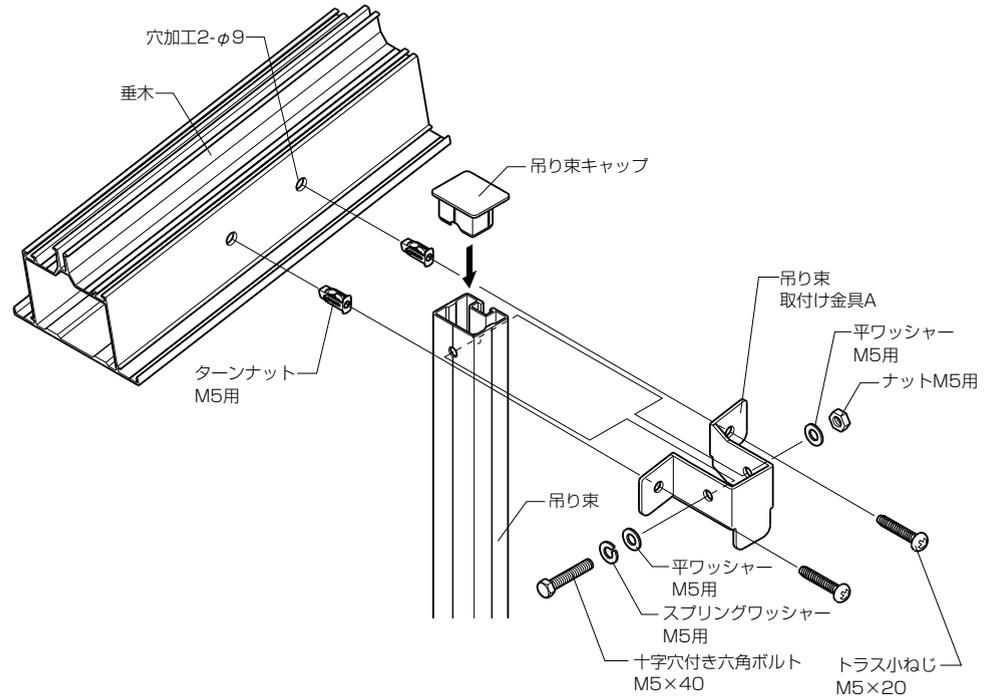
■吊り束タイプの組立て

3 吊り束の取付け



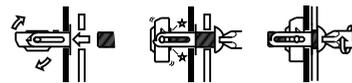
3 吊り束の取付け

- ①吊り束に吊り束キャップを取付けてください。
- ②吊り束に吊り束取付け金具Aをボルトで仮固定してください。
- ③吊り束取付け金具A取付け穴(φ9)を中間垂木、端部垂木に下図のように加工してください。
※屋根自体の角度が異なる場合は、現場合わせで加工してください。
- ④吊り束取付け金具Aを中間垂木、端部垂木にねじ止めしてください。



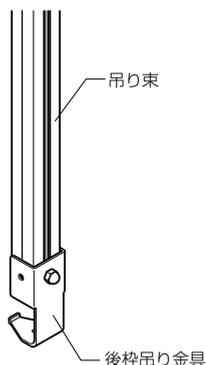
■ターンナットの使用方法

- ねじで押すことによりナットを回転させるアール面
- ねじ導入部
- ナットの回り過ぎと逆転を防止する突起
- ナットの脱落を防止する突起



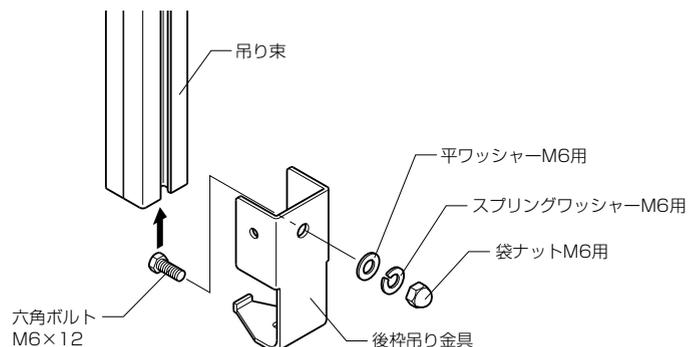
※ターンナットを下穴に挿入し、軽く押し込みながら締付けてください。

4 後枠吊り金具の取付け

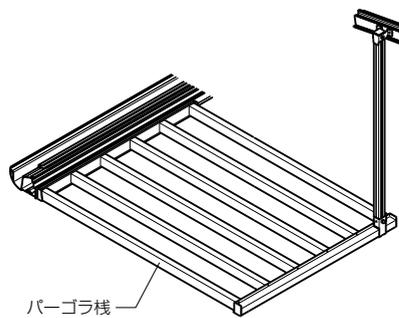


4 後枠吊り金具の取付け

- ①後枠吊り金具と吊り束を仮止めしてください。
- ※後枠吊り金具は、側面の穴が内側になるようにして取付けてください。

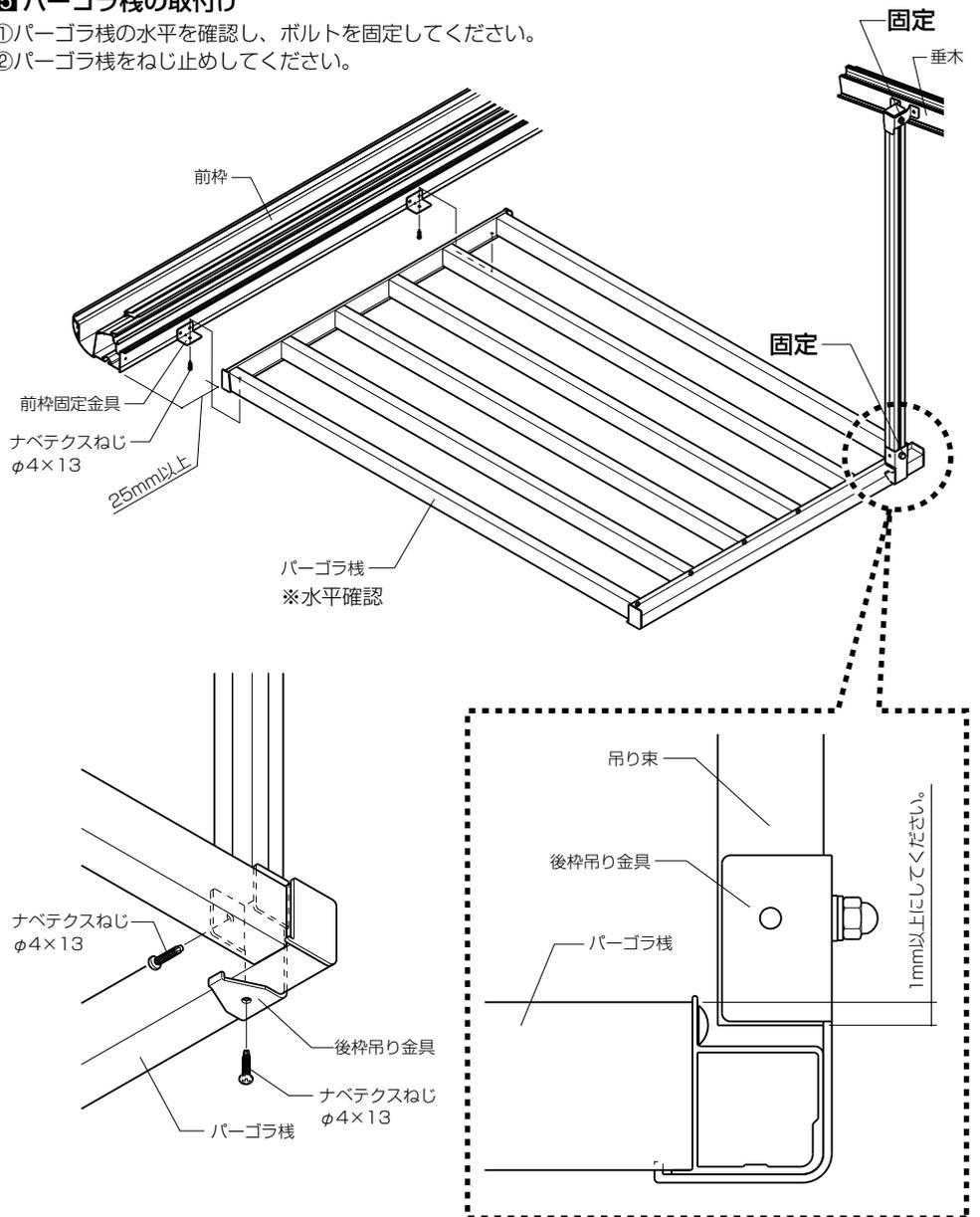


5 パーゴラ棧の取付け

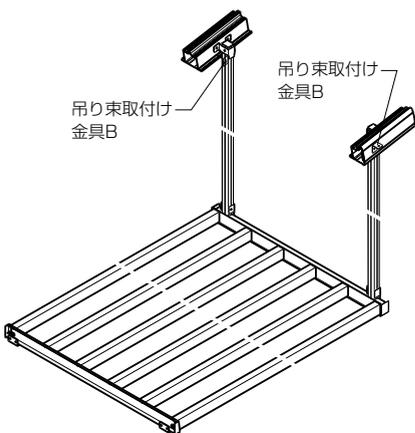


5 パーゴラ棧の取付け

- ①パーゴラ棧の水平を確認し、ボルトを固定してください。
- ②パーゴラ棧をねじ止めしてください。

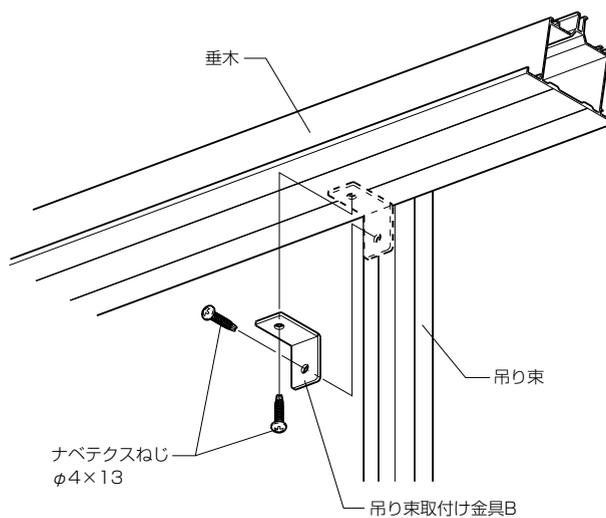


6 吊り束取付け金具Bの取付け



6 吊り束取付け金具Bの取付け

- ①吊り束取付け金具Bをねじ止めしてください。
※吊り束取付け金具Bに『上面』と刻印されている面を中間垂木・端部垂木側にしてください。

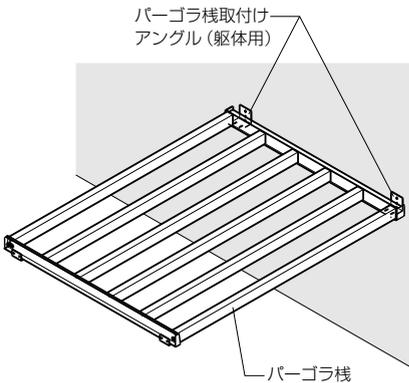


■壁付けタイプの組立て

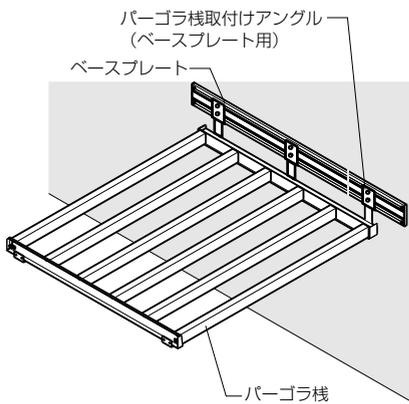
③ 躯体用への取付け

■アングルで固定する場合

※1 パーゴラ棧の組立て、2 前枠固定金具の取付けについては、[5/12]を参照してください。



■ベースプレートで固定する場合

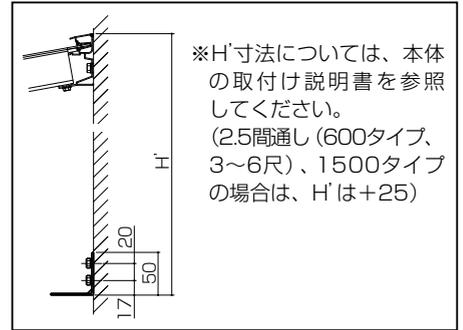
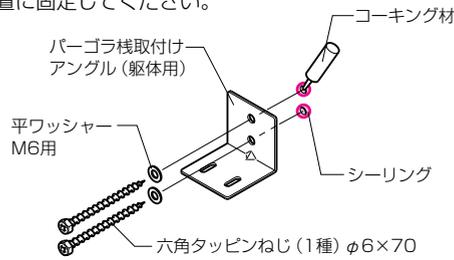


④ パーゴラ棧の取付け

③ 躯体用への取付け

■アングルで固定する場合

●パーゴラ棧取付けアングル(躯体用) 2カ所、図の位置に固定してください。

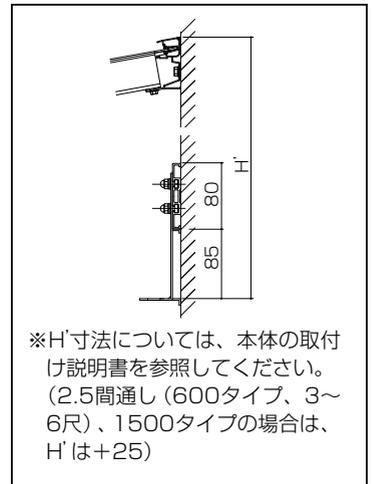
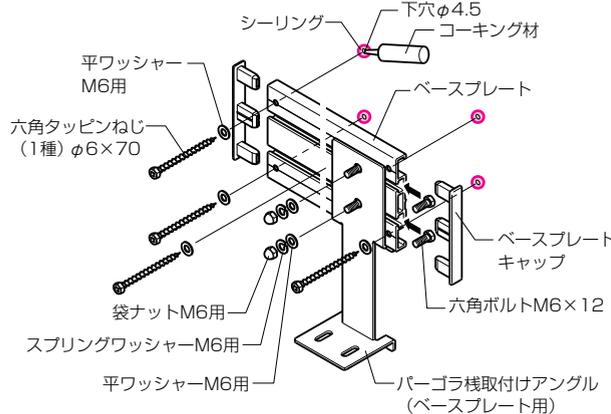


▲注意

- パーゴラ棧取付けアングル(躯体用)は、必ず躯体・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで、損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補強して、取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

■ベースプレートで固定する場合

①ベースプレートにパーゴラ棧取付けアングルの数分、上下のボルトホールに六角ボルトM6を挿入します。
 ②ベースプレートにベースプレートキャップを取付け、下図を参考に位置を出し、躯体に固定します。
 ※必ず水準器などで水平を出してください。
 ③ベースプレートにパーゴラ棧取付けアングル(ベースプレート用)を固定してください。



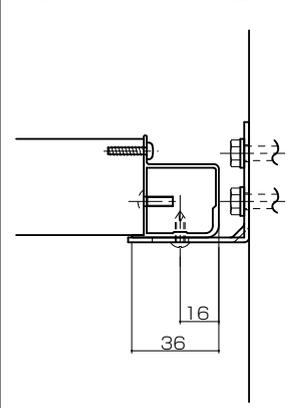
▲注意

- ベースプレートは、必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで、損傷が著しい場合は、お施主様と打合わせをし、必要に応じて補強して、取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

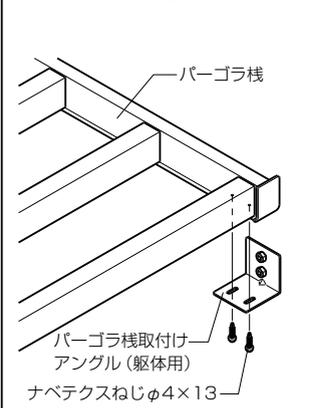
④ パーゴラ棧の取付け

●パーゴラ棧をねじ止めしてください。
 ※後枠は、下図の位置にねじ止めしてください。

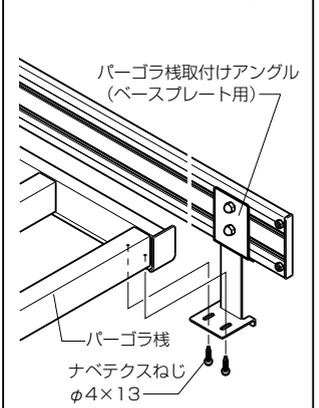
■後枠のねじ止め位置



■アングルの場合

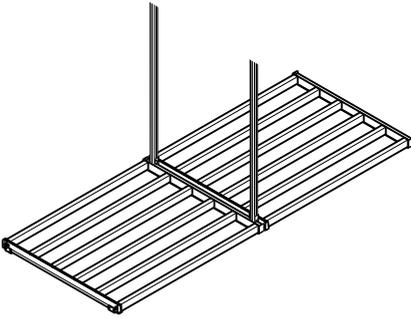


■ベースプレートの場合



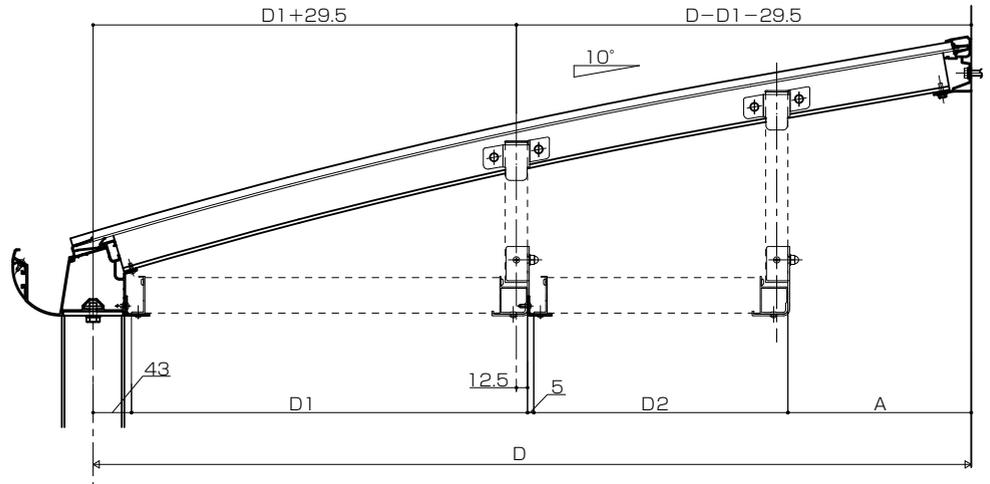
■奥行き連結する場合の組立て

1 前枠固定金具（連結部）の取付け

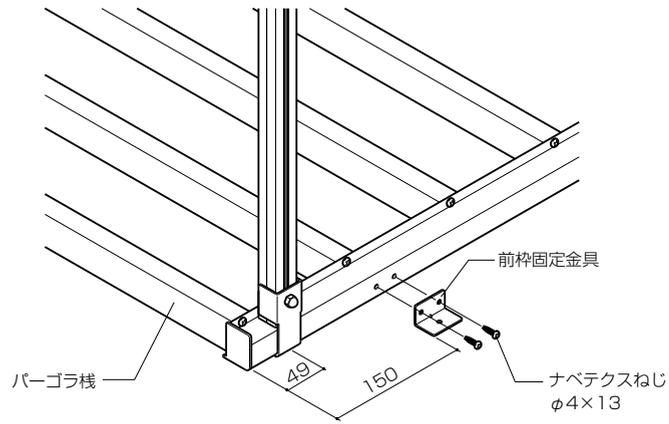


1 前枠固定金具（連結部）の取付け

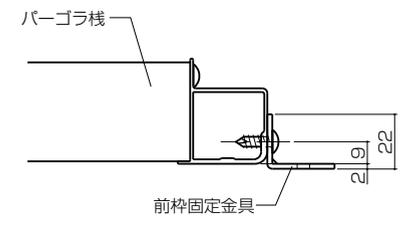
● 3 吊り束の取付け（[6/12]）後、前枠固定金具を後枠にねじ止めしてください。
 ※吊り束取付け金具Aの取付け位置は、下図を参照してください。



※屋根自体の角度が異なる場合は、現物合わせで加工してください。

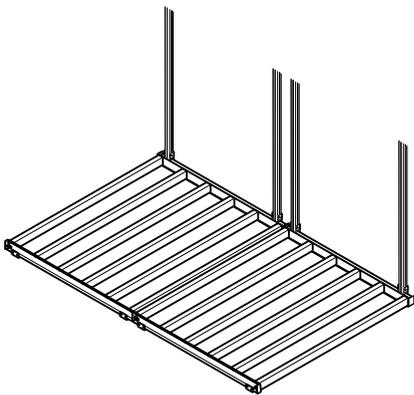


■前枠固定金具取付け位置

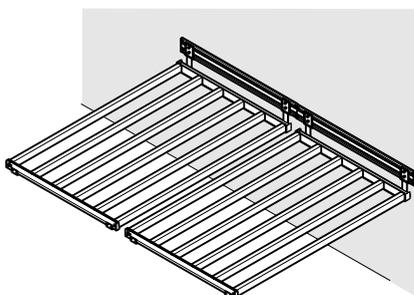
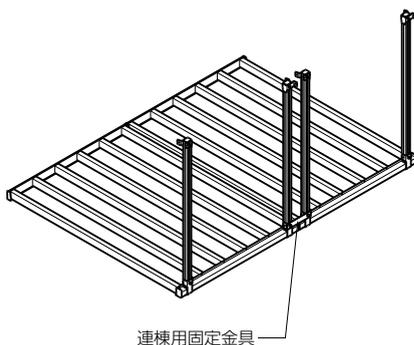


■間口連結する場合の組立て

1 前枠固定金具 (連結部)
パーゴラ棧の取付け

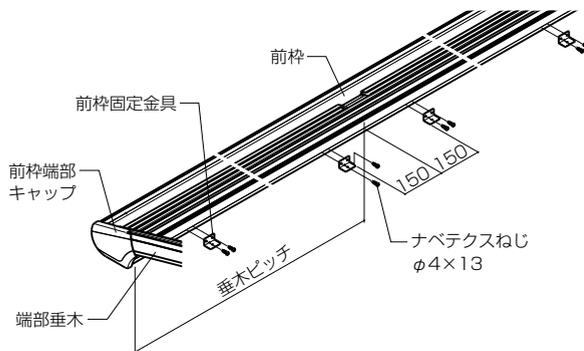


2 連結部の取付け



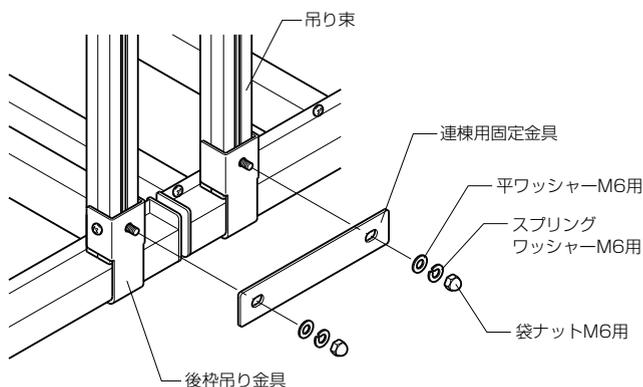
1 前枠固定金具 (連結部) パーゴラ棧の取付け

- ①前枠固定金具をねじ止めしてください。
- ②パーゴラ棧をねじ止めしてください。



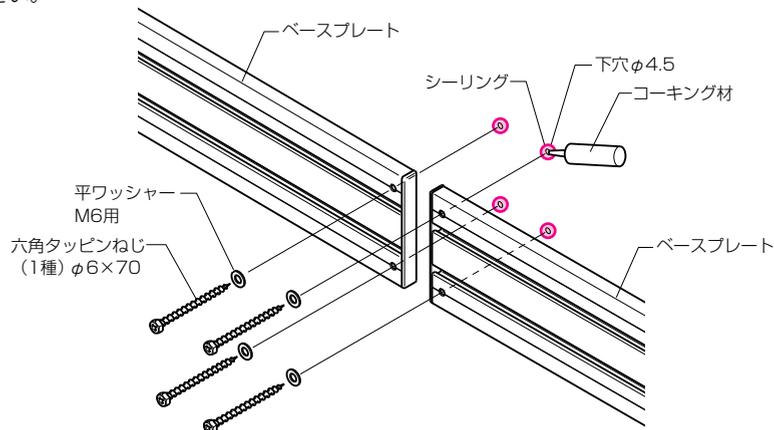
2 連結部の取付け
■吊り束タイプの場合

- 連棟用固定金具をボルトで固定してください。
- ※連棟部は吊り束固定金具Bを取付けしないでください。



■壁付けタイプベースプレートの場合

- 躯体状況により、ベースプレートの連結部を切断し、**3 躯体用への取付け (B/T2)**を参照し、取付けてください。



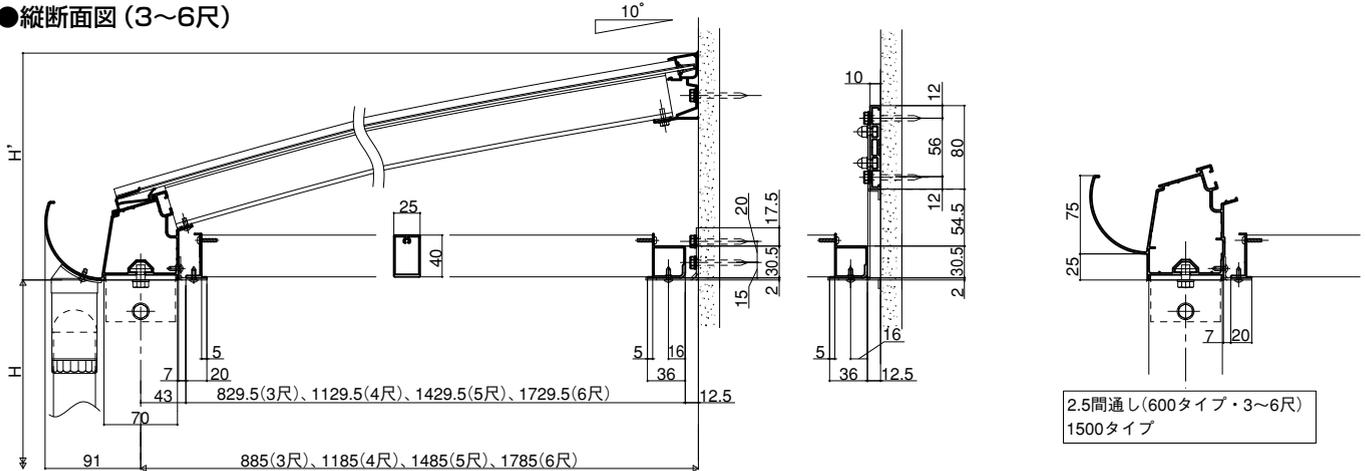
▲ 注意

- ベースプレートは、必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで、損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補強して、取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

■納まり図

■パーゴラ 壁付けタイプ (H、H'、h、D寸法はアルファテラス本体の取付け説明書を参照してください。)

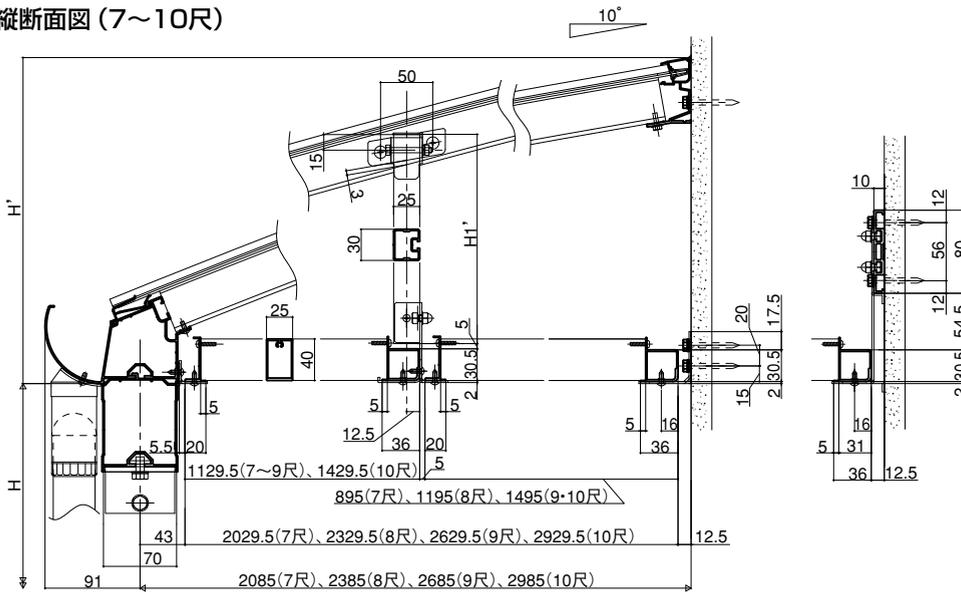
●縦断面図 (3~6尺)



2.5間通し(600タイプ・3~6尺)
1500タイプ

ベースプレート納まり

●縦断面図 (7~10尺)



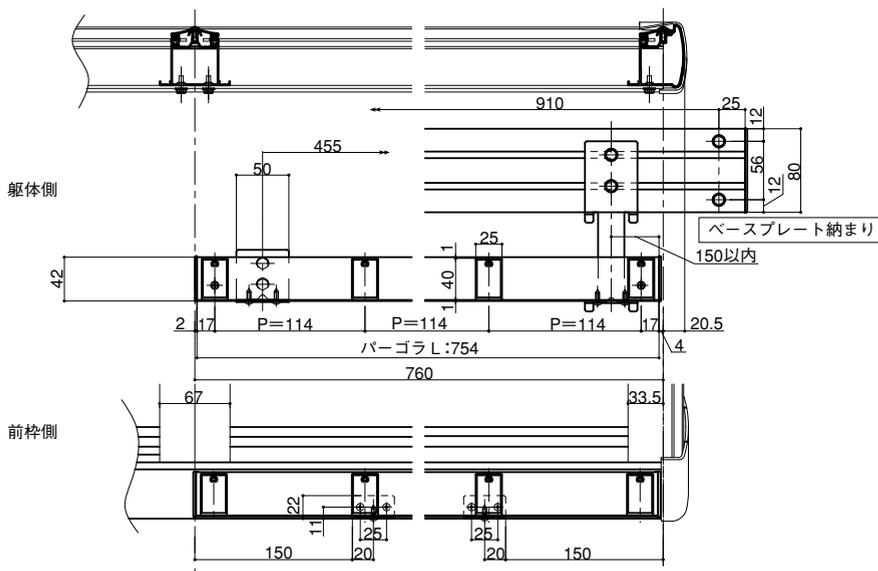
1500タイプ

ベースプレート納まり

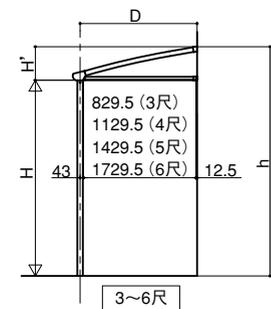
	吊り束寸法H1'			
	7尺	8尺	9尺	10尺
アルファテラス L型	423	423	423	499.5
アルファテラス F型	240.5	240.5	240.5	-
アルファテラス RB型	435	435	435	488

※1500タイプは+25。

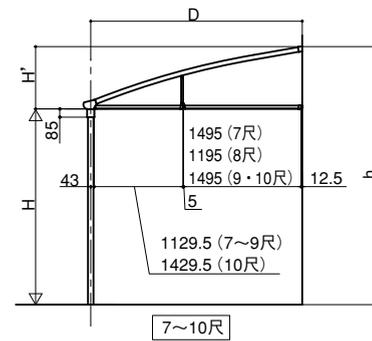
●横断面図



●姿図



3~6尺

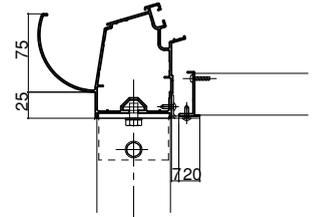
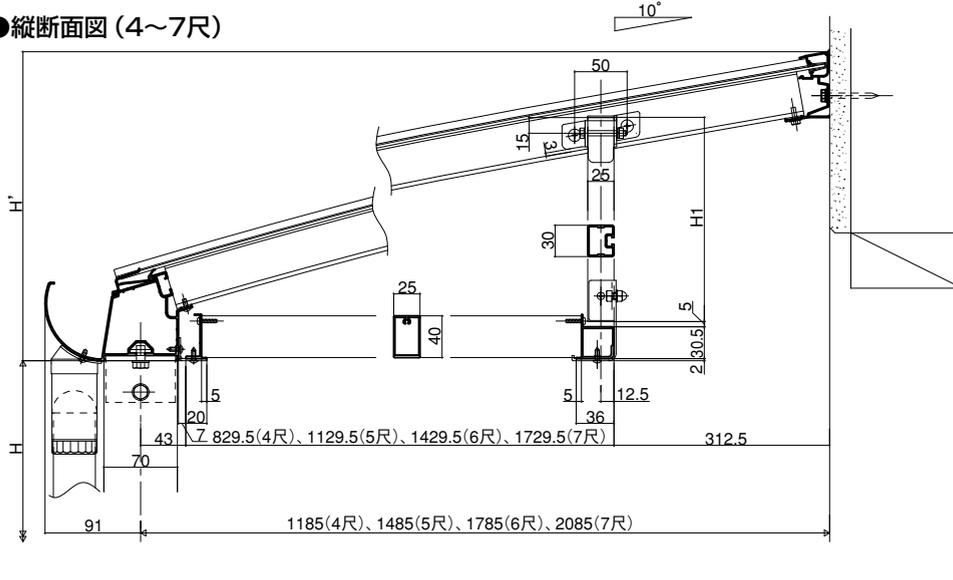


7~10尺

※本図は標準納まりを示す。長尺柱の長さは、標準納まりの+600。

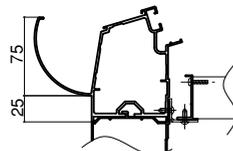
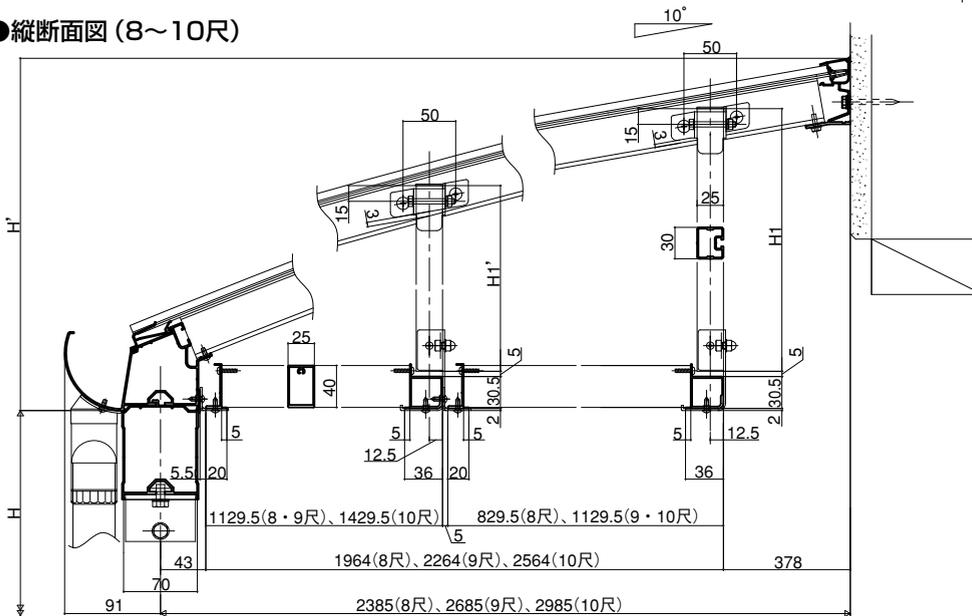
■パーゴラ 吊り束タイプ (H、H'、h、D寸法はアルファテラス本体の取付け説明書を参照してください。)

●縦断面図 (4~7尺)



2.5間通し (600タイプ・4~6尺)
1500タイプ

●縦断面図 (8~10尺)

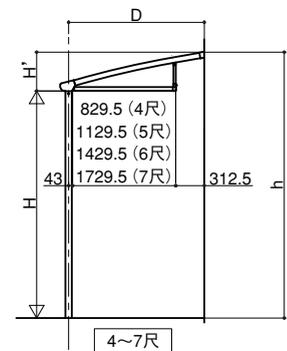


1500タイプ

	吊り束寸法H1						吊り束寸法H1'			
	4尺	5尺	6尺	7尺	8尺	9尺	10尺	8尺	9尺	10尺
アルファテラス L型	232	308	361	413.5	611.5	664.5	717.5	423	423	499.5
アルファテラス F型	115.5	168.5	221.5	274.5	388	440.5	—	240.5	240.5	—
アルファテラス RA型	—	511.5	564	—	—	—	—	—	—	—
アルファテラス RB型	310	363	416	541	582	635	688	435	435	488

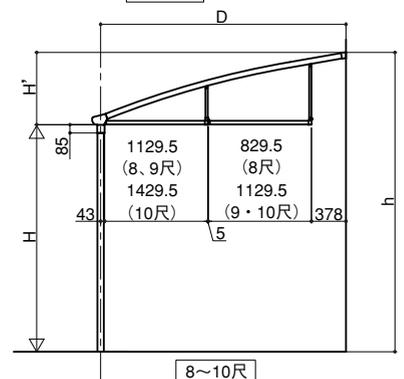
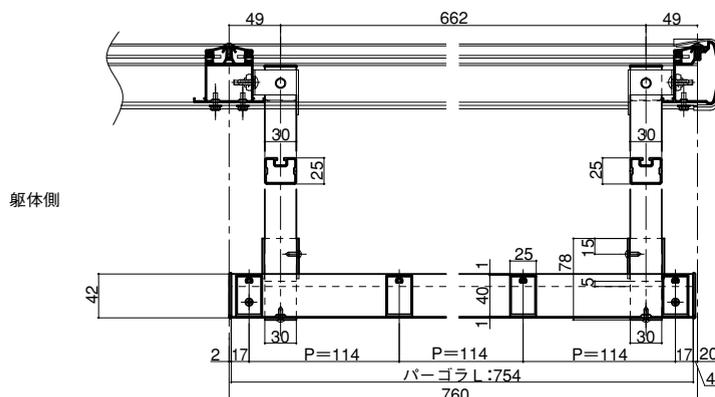
※2.5間通し (600タイプ・4~6尺)、1500タイプは+25。

●姿図



4~7尺

●横断面図



8~10尺

※本図は標準納まりを示す。長尺柱の長さは、標準納まりの+600。